

**【 閱 覧 用 】**

市ホームページにも掲載しています

問合せ先: 総務部行革財政課

電 話: 0470-22-3291

# 館山市の家計簿

令和6年度 当初予算版



# 目次

予算とは	・・・ ( 3 )
館山市の予算 ( 令和 6 年度 )	・・・ ( 4 )
一般会計歳入	・・・ ( 6 )
一般会計歳出	・・・ ( 9 )
市債 ( 借金 ) と基金 ( 貯金 )	・・・ ( 12 )
館山市の財政を家計に例えると	・・・ ( 14 )
これからの財政運営のために	・・・ ( 15 )
令和 6 年度の主な事業	・・・ ( 17 )

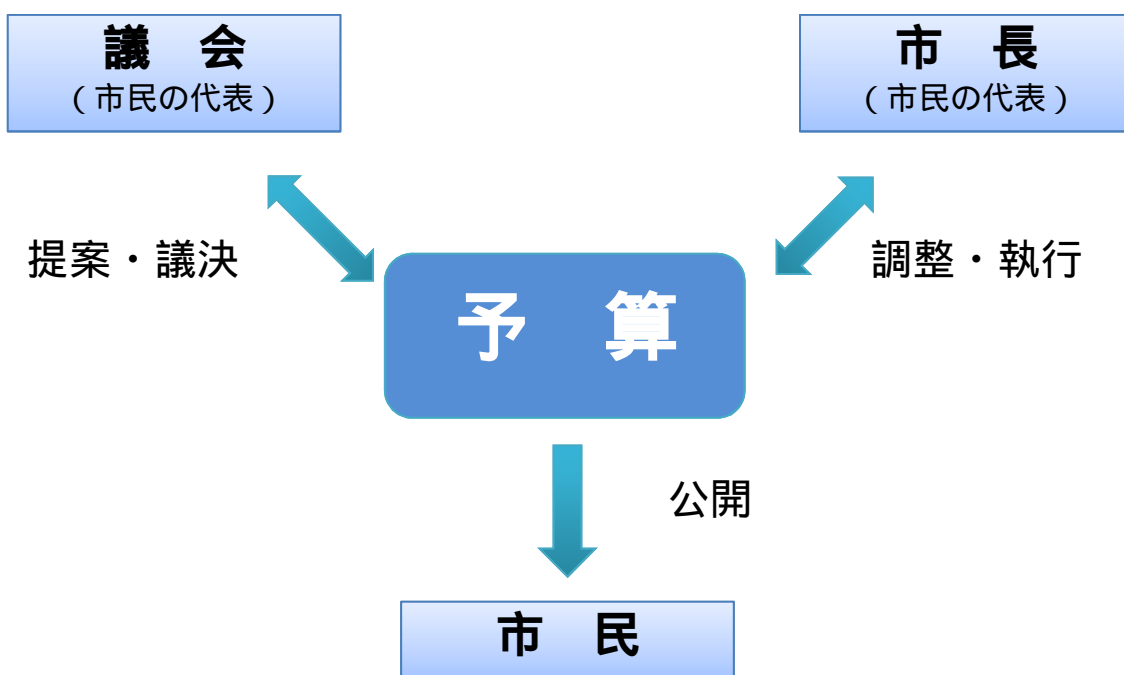
# 予算とは

館山市に1年間（4月～3月）に入ってくる収入の見積りと、その使い道を表すものが「予算」です。

市長は、予算案を作り市議会へ提出し、市議会の審議と議決により予算が成立します。

## 予算編成のスケジュール

9月末	市長から来年度予算編成にかかる方針「予算編成方針」を指示
10月	各所属で来年度の事業計画を検討し、予算要望を提出
12月～1月	市長による予算査定を実施 各課の予算要望を「予算案」としてまとめる
2月末	市長が予算案を市議会へ提出 議会での審議
3月	議決により予算が成立



# 館山市の予算（令和6年度）

## 会計の区分について

収入と支出の関係を明確にするため、「一般会計」「特別会計」「公営企業会計」の3つのグループに区分しています。

<b>一般会計</b>	<b>240 億 2,300 万円</b>	対前年度	7 億 5,100 万円 ( 3.0%)
-------------	-----------------------	------	-------------------------

教育、福祉、防災、道路整備、農水産業、商工観光など市の基本的な行政サービスを行う会計です。

<b>特別会計</b>	<b>129 億 5,980 万円</b>	対前年度	1 億 9,827 万円 ( 1.5%)	
内 訳	国民健康保険	55 億 5,295 万円	対前年度	5 億 4,406 万円 ( 8.9%)
	後期高齢者医療	9 億 2,905 万円	対前年度	+ 3,904 万円 ( +4.4%)
	介護保険	64 億 7,780 万円	対前年度	+ 3 億 675 万円 ( +5.0%)

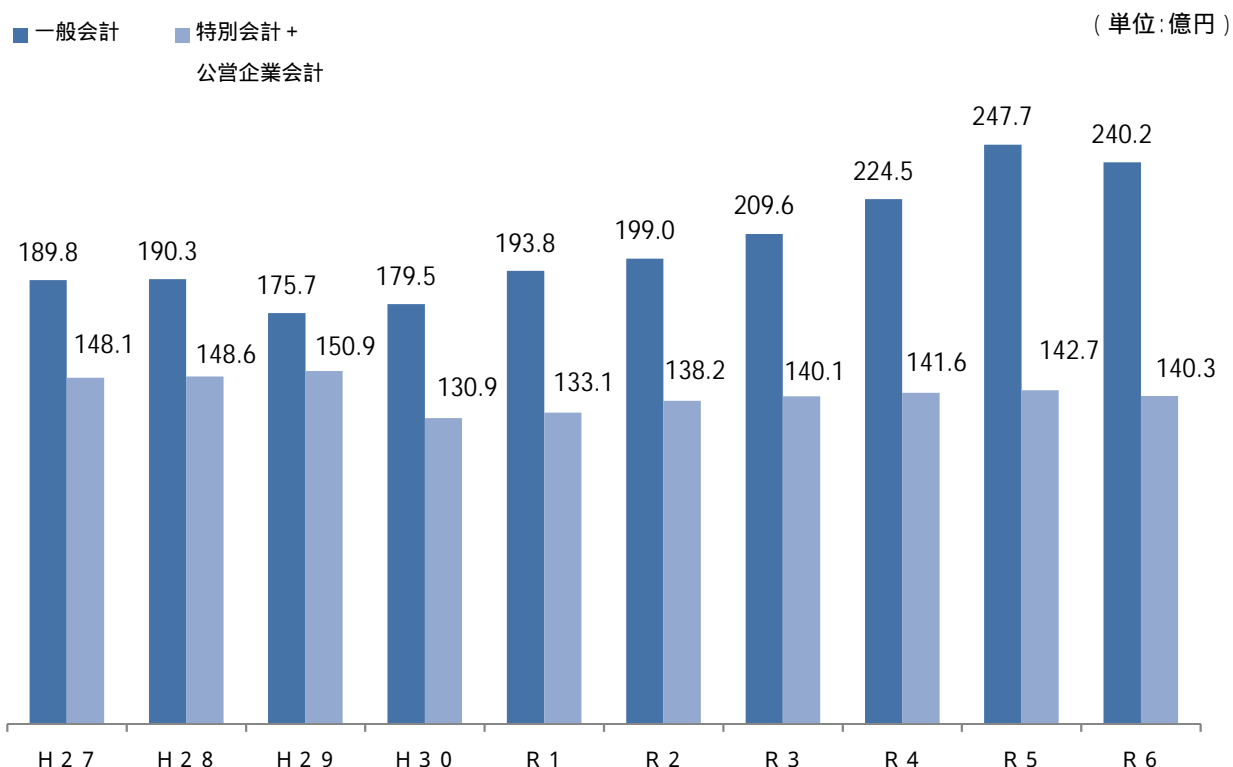
特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。

<b>公営企業会計</b> 下水道事業会計	<b>10 億 6,830 万円</b>	対前年度	4,043 万円 ( 3.6%)
--------------------------	----------------------	------	---------------------

民間企業と同じように、事業で収益をあげて、運営している会計です。

<b>総 計</b>	<b>380 億 5,110 万円</b>	対前年度	9 億 8,970 万円 ( 2.5%)
------------	-----------------------	------	-------------------------

## 予算規模の推移と特徴



### 一般会計予算について

台風災害からの復旧復興や、長引くコロナ禍の影響により予算規模は年々増加傾向にありました。

令和7年4月に供用開始を迎える館山中学校整備事業や公私連携幼保連携型認定こども園の整備、消防団詰所整備事業などの大型事業の実施や物価高騰の影響を受け、4年連続の200億円越えの予算規模となっています。

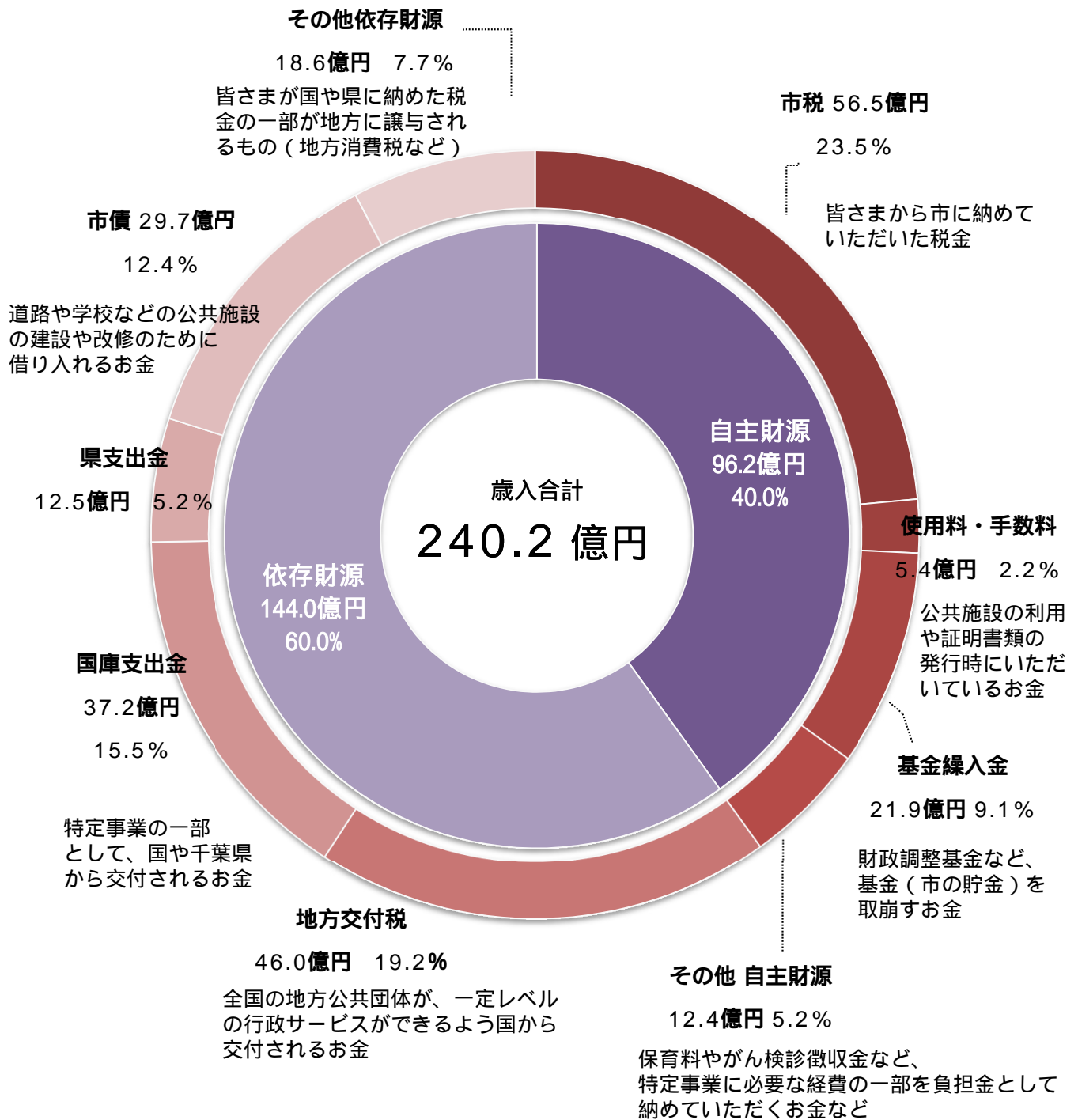
### 特別会計予算について

高齢化の進行などによる医療費や介護サービス費の増加により、平成29年度まで年々増加傾向にありました。

平成30年度には、国民健康保険の都道府県化に伴う制度改正により、国民健康保険特別会計の額が大幅に減少したものの、今後は再び増加していくものと見込まれます。

令和2年度から下水道事業は公営事業会計方式に変更され、独立した会計となりました。

# 一般会計歳入



## 自主財源と特定財源

**自主財源** ... 市が自主的に調達できる収入です。自治体財政運営の体力と言われ、その割合が大きいほど自立した財政運営が可能となります。

**依存財源** ... 国や県など、外的な要因に頼る収入です。館山市は、自主財源より依存財源の割合の方が高くなっています。

## 市税収入の内訳

個人市民税	18.1億円	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税
法人市民税	2.9億円	市内に事業所がある法人に納めていただく税
固定資産税	24.4億円	市内に土地・家屋及び償却資産を有している人に納めていただく税
市たばこ税	4.0億円	市内でたばこを買った方に納めていただく税
軽自動車税	1.9億円	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人から納めていただく税
都市計画税 【目的税】	4.9億円	都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・建物に対して課税
入湯税 【目的税】	0.3億円	鉱泉浴場における入浴に対し課税

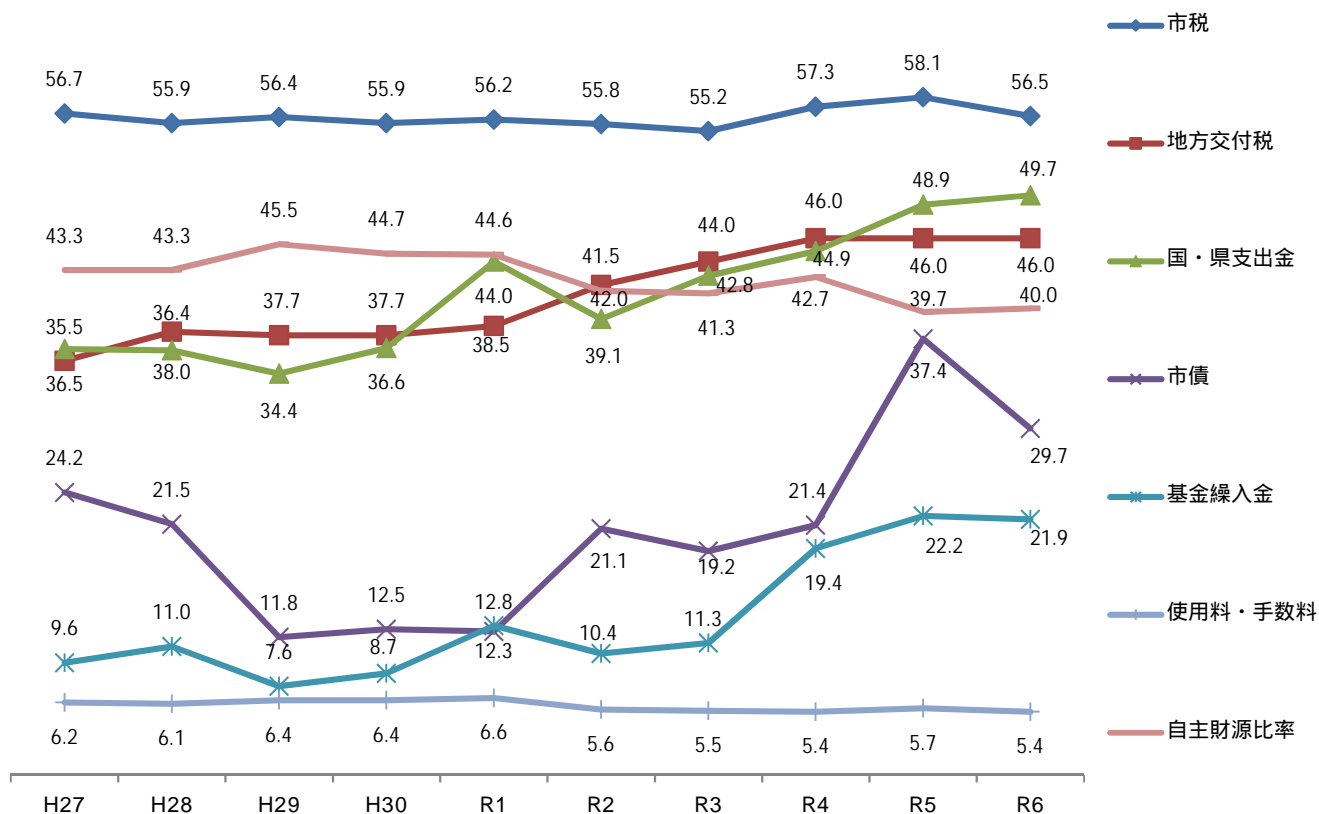
### 【目的税の使いみち】

都市計画税と入湯税は「目的税」と言われ、使いみちが定められています。

都市計画税	都市計画事業に要する費用に充当	船形館山線道路整備事業、公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業の市債返済など
入湯税	観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に充当	観光イベント事業や消防車両の購入費用など

# 歳入予算の推移

( 単位：億円 )  
自主財源比率は%



## 【ポイント】

### 市税収入の減少

高齢化に伴う生産人口の減少により、例年減少傾向となっています。令和6年度は、固定資産税や都市計画税において評価替えが行われことに伴う減収を見込んでいます。

### 地方交付税・国県支出金は、年度間で大きく変動

国の政策や国・県補助事業の実施状況により、年度間で変動します。

### 市債（借金）の減少

借金残高や返済額が急激に増加しないよう財政運営を行っていますが、令和元年度以降、台風災害による復旧事業や新学校給食センターの建設に伴い、市債（借金）が大幅に増加しています。

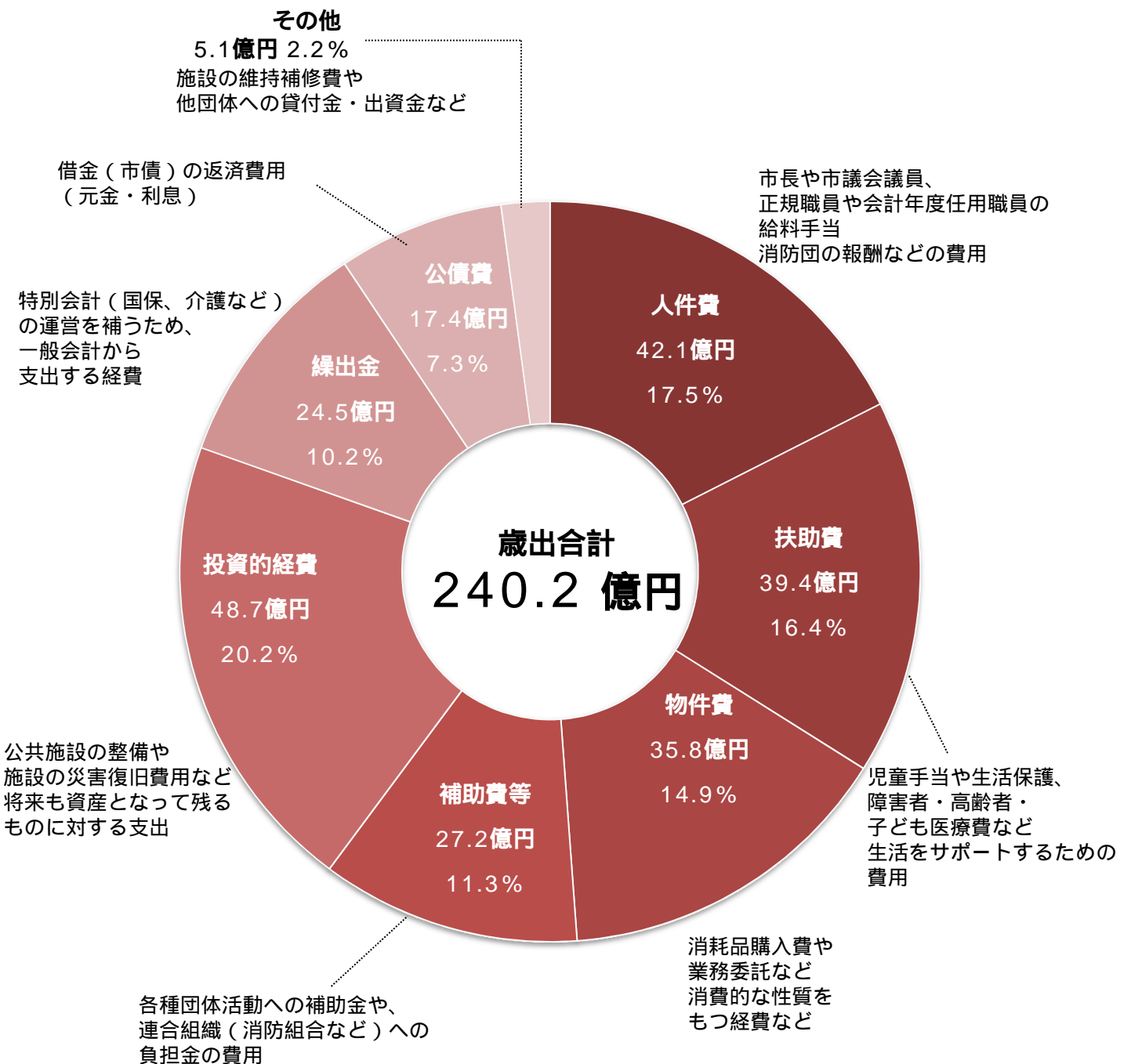
令和6年度においては、令和4年度から実施している館山中学校整備事業の最終年度の工事に伴い事業費が増となる一方で、食のまちづくり拠点施設の整備や清掃センター基幹的設備改良工事が終了したことに伴い、市債が前年度より減少しています。



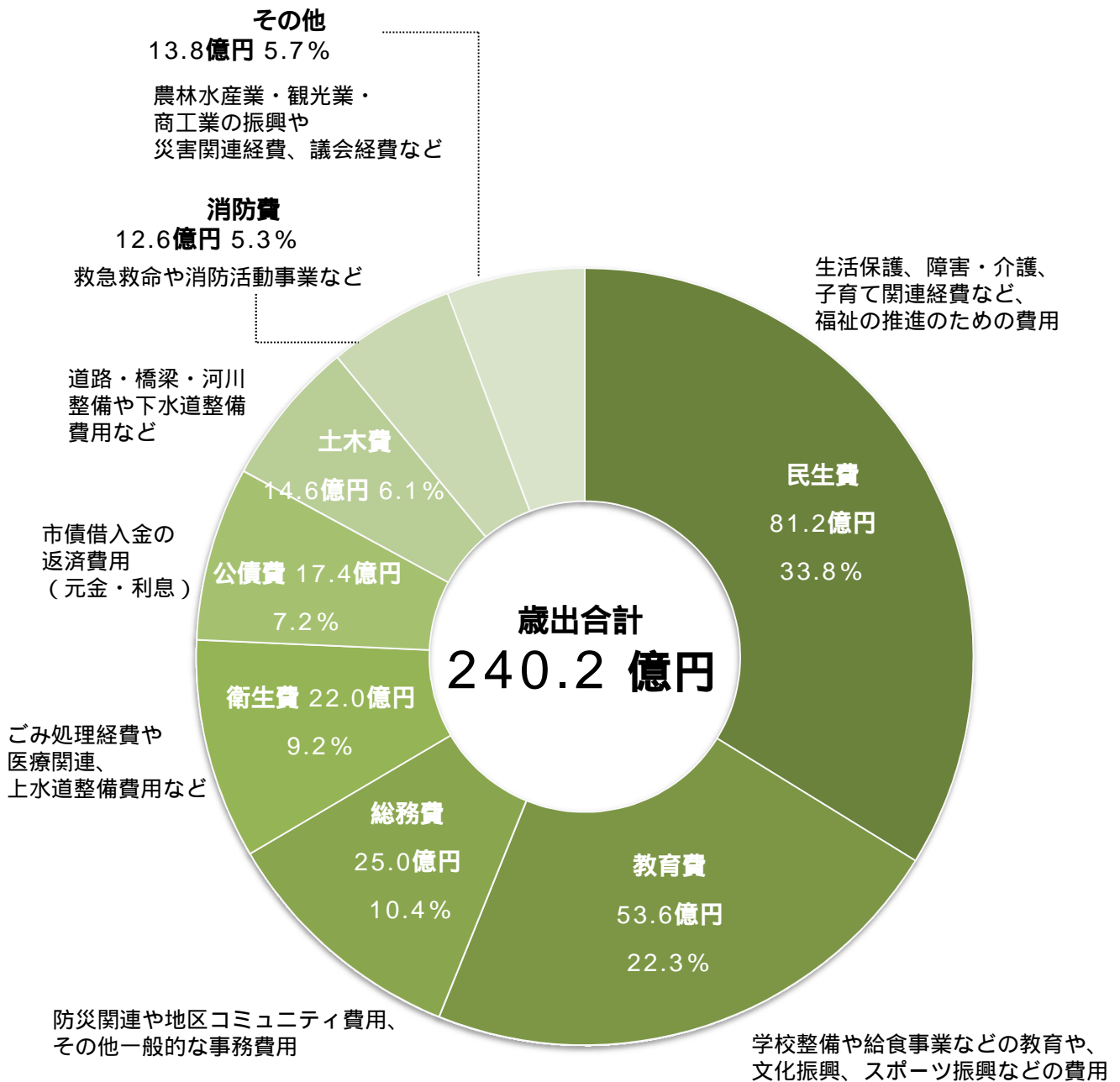
# 一般会計歳出

歳出は、  
・どのような性格の経費として使われているのか（性質別）  
・どのような分野の行政サービスに使われているのか（目的別）  
2つの分類方法から見ることができます。

## 【 性質別 】一般会計予算額

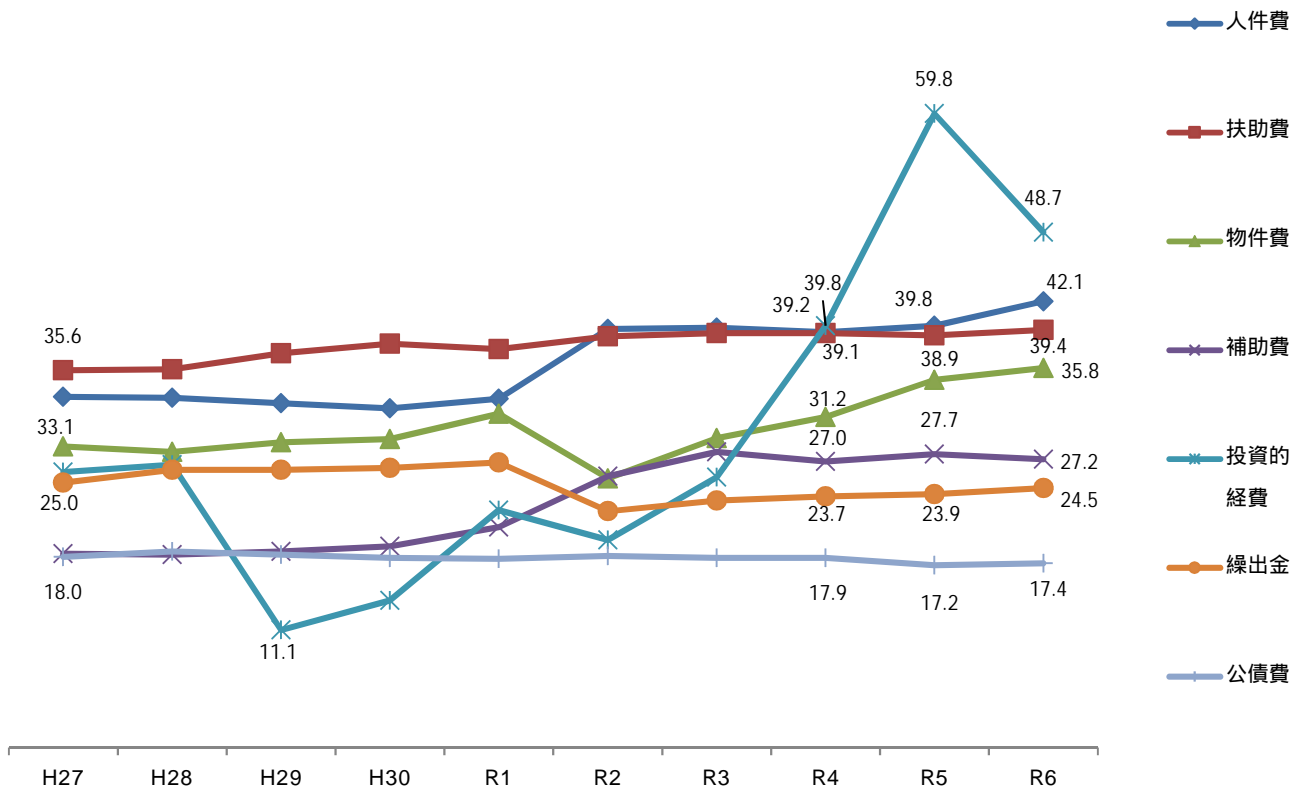


# 【 目的別 】 一般会計予算額



# 歳出予算の推移

( 単位：億円 )



## 【ポイント】

### 社会保障関連経費は増加傾向

高齢化の進行により、扶助費などの社会保障関連経費は増加傾向にあります。

### 物件費の増加

各小学校の教職員が使用する教師用教科書・指導書の購入、教師用デジタル教科書本格導入やエネルギー価格の高騰により増加しています。

### 投資的経費は年度間で変動

投資的経費は、大規模な公共事業の実施状況により、年度間で増減が生じます。

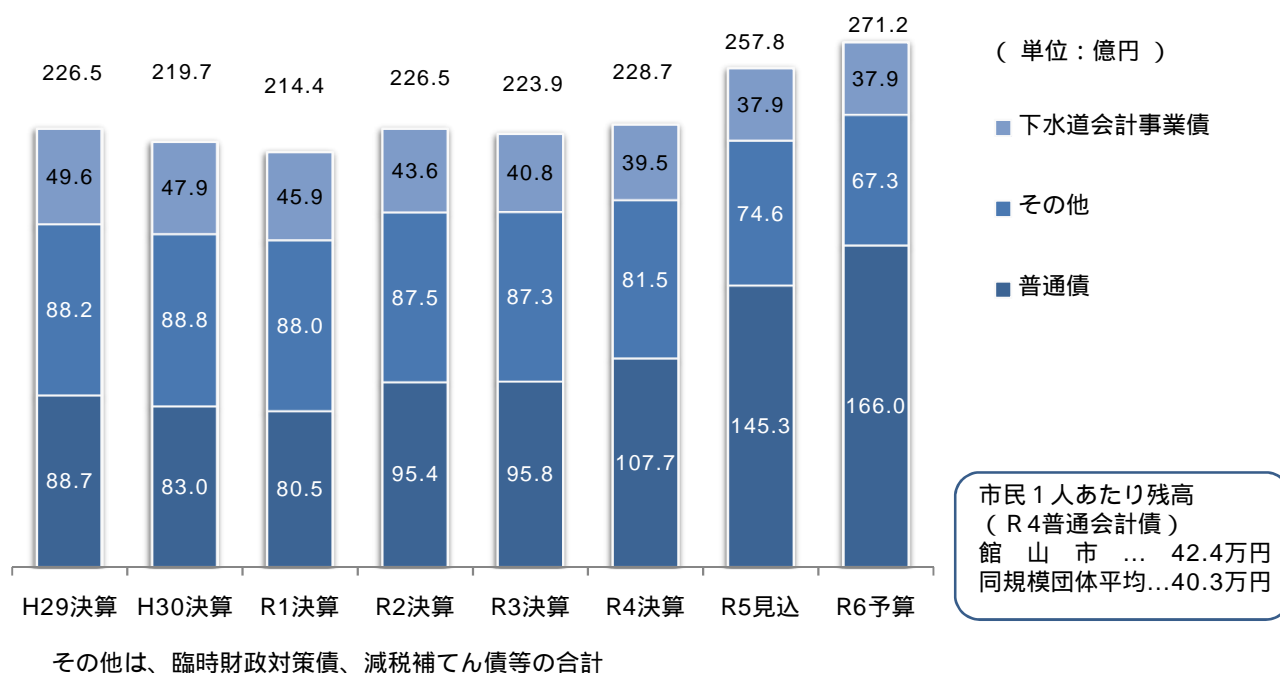
平成28年度までの公共施設耐震化事業が完了したことにより、一時的に減少しました。令和6年度は、令和4年度から実施している館山中学校整備事業を継続している一方で、食のまちづくり拠点施設の整備や清掃センター基幹的設備改良工事が終了したことに伴い、前年度より減少しています。

# 市債（借金）と基金（貯金）

## 市債の役割

単年度の財源確保	大規模な建設事業を実施した年でも、その財源（収入）を確保することで、他の行政サービスを滞りなく実施することができる
世代間負担の公平性	公共施設の整備は、将来使用する（便益を受ける）住民にも、その返済費用を負担してもらうことで、世代間の公平性が確保される

## 市債残高の推移



借金残高や返済額が急激に増加しないよう財政運営を行っていますが、令和元年度以降、台風災害による復旧事業や新学校給食センターの建設に伴い、市債（借金）が大幅に増加しています。

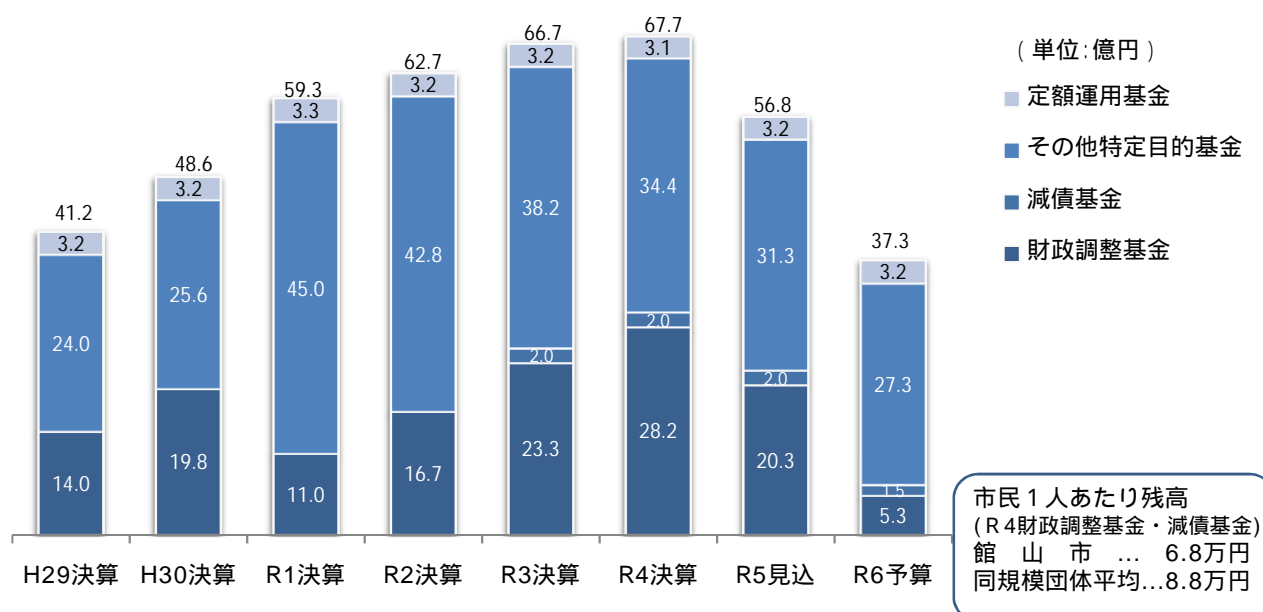
令和4年度から実施している館山中学校整備事業や清掃センター長寿命化対策事業などの大規模事業の実施したことにより、市債の増加しています。

市民1人あたりの借金残高は、県内同規模団体平均よりも多い状況となっています。

## 基金の種類と役割

財政調整基金	年度間の財政の不均衡を調整し、安定した財政運営を行うための基金 急激な税収減少や災害時などの不足の事態に備えるもので、「自治体財政運営のかなめ」と言える
その他特定目的基金	特定の用途を定めて積立てる基金 (庁舎建設基金、観光振興基金、環境保全基金、子ども・子育て支援基金など)
定額運用基金	定額を積立て、資金を運用する基金 (土地開発基金、看護師等修学資金貸付基金など)

## 基金残高の推移



平成25年以降、歳出予算の拡大に対応するため、財政調整基金を取崩しながら財政運営を行ってきました。

令和6年度は財政調整基金を14.9億円、その他特定目的基金については館山中学校整備への「庁舎等建設基金」の活用など約4.7億円の取崩しがあります。

市民1人あたりの貯金残高は、県内同規模団体平均よりも少ない状況です。

# 館山市の財政を家計に例えると

## 館山市の家計簿

一般会計決算を、家庭の総収入300万円（1か月25万円）の家計に例えて説明します。

収 入（1ヶ月）	
給与（市税収入）	5.9万円
手当（使用料など）	3.8万円
貯金取崩し（基金繰入金）	2.2万円
親からの援助 （地方交付税・国県支出金）	10.0万円
銀行からの借入（市債）	3.1万円
合計	25.0万円

支 出（1ヶ月）	
食費（人件費）	4.4万円
医療費（扶助費）	4.1万円
ローン返済（公債費）	1.8万円
水道光熱費（物件費）	3.7万円
交際費（補助費）	2.8万円
リフォーム（投資的経費）	5.1万円
こどもへの仕送り（繰出金）	2.6万円
貯金（基金繰出金）	0.2万円
貸付金など（貸付金、出資金）	0.3万円
合計	25.0万円

### 【現状】

「給与」や「手当」のほか、「親からの援助」に頼っている状況です。

### 【改善点】

「給与・手当」を増やし、「親からの援助」の割合を減らすことが重要です。また、「銀行からの借入」は、上限額を決めて計画的に行う必要があります。

### 【現状】

「食費」や「医療費」などの固定費が大きな割合を占めており、自分の裁量で使用できるお金はそれほど多くありません。

### 【改善点】

日々の節約を基本に、大きな買い物は計画的に行ったり、建物を適正規模にして、水道光熱費やリフォーム代を抑えるなど、中長期的な視点からライフスタイルを見直し、上手にやり繰りしていくことが重要です。

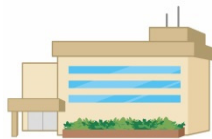
また、万が一の災害等に備えた準備も必要です。

# これからの財政運営のために

## 館山市に行財政改革が必要な理由

### 将来の心配事...

公共施設の老朽化



「ゆとり」のない  
財政運営



更なる少子高齢化による  
福祉・医療費の増加

人口の減少による  
税収などの伸び悩み

これから増加する費用や、  
新たな市民サービスの向上を図るためには...

市民協働

(行政が実施すること、  
市民・NPO団体などの  
役割の明確化)



行政サービスを  
受ける人の応分の負担



生活習慣病の予防、  
病気の早期発見・治療など  
健康寿命を延ばす施策による  
医療・介護費の削減

公共施設の統廃合・  
民間委託の推進



## 行財政改革の取組み

市では今後の中長期的な財政予測や、現状の課題点を踏まえ、令和5年3月に策定した「第4次館山市行財政改革方針」に基づき、行財政改革に資する具体的施策に取り組んでいます。

取組の種類	内容
持続可能な財政運営	健全な財政基盤の確立 自主財源等の歳入確保 地域経済の活性化 歳出改革と将来負担の軽減
公共施設等の管理・運営の最適化	公共施設マネジメントの推進 脱炭素化への取り組み 民間活力を生かした公共施設等の管理運営
行政サービスの質の向上と効率化・DXの活用	戦略的な組織体制の構築 市政に参加しやすい環境づくり・市民協働の推進 住民サービスの向上 情報ネットワークの強化・ICTを活用した サービスの向上



# 令和6年度の主な事業

令和6年度の予算は、「若者が戻って来る、戻って来たい、移住したいと思えるまちづくり」、「誰もが住んでよかったと思えるまちづくり」を推進するため、「出産・子育て支援」、「教育環境の整備・充実」、「経済・観光の活性化」の3点を予算編成の柱としました。

## 出産・子育て支援

私立保育所運営支援事業（こども課）			
事業費	6億8,925万円	私立保育所等へ保育を委託し、運営を補助するほか、北条幼稚園及び中央保育園を引き継ぐ「公私連携幼保連携型認定こども園」の施設整備に対して補助金を交付します。	
財源	国・県		5億2,149万円
	市債		3,450万円
	他		2,678万円
	市		1億 648万円

母子保健育児支援事業（健康課）			
事業費	2,611万円	母子保健の推進及び安心した子育て生活のため、産後ケア事業を拡充するとともに、出産・子育て応援給付金を支給します。	
財源	国・県		2,067万円
	市債		
	他		544万円
	市		

## 教育環境の整備・充実

館山中学校整備事業（建築施設課）			
事業費	33億3,925万円	新館山中学校の施設整備のため、校舎や武道場・武道場建設工事、第二体育館建設その他工事等の継続及び校庭整備・付帯施設整備等に着手します。（令和7年度供用開始予定）	
財源	国・県		9億5,111万円
	市債		20億9,530万円
	他		2億9,284万円
	市		

北条小学校プール整備事業			
事業費	1億2,784万円	老朽化した北条小学校のプールの改築工事を行います。	
財源	国・県		
	市債		1億1,500万円
	他		
	市		1,284万円

小学校教師用教科書・指導書購入（教育総務課）			
事業費	3,343万円	教科書の採択替えに伴い教師用教科書・指導書を購入します。GIGAスクール構想の推進を図るため、教師用デジタル教科書の本格導入を行います。	
財源	国・県		513万円
	市債		
	他		
	市		2,830万円

学校再編施設改修事業（建築施設課）			
事業費	3,036万円	今後予想される学校再編の取組を見据えて、必要となる学校施設工事の設計業務を実施します。	
財源	国・県		
	市債		2,720万円
	他		
	市		316万円

## 経済・観光の活性化

移住・定住促進事業（雇用商工課）			
事業費	1,270万円	移住者増加による地域の活性化を図るため、都市部からの移住希望者に対する補助金や、南房総市と連携した移住希望者への相談業務などを行います。	
財源	国・県		750万円
	市債		
	他		
	市		520万円

企業誘致推進事業（雇用商工課）			
事業費	502万円	新たな魅力ある雇用の創出を図るため、サテライトオフィス誘致のノウハウを有する専門事業者と連携し、効果的な企業誘致活動を推進します。	
財源	国・県		
	市債		
	他		
	市		502万円

## 命と生活を守る

市街地循環バス運行事業（企画課）			
事業費	3,286万円	市街地における移動手段を継続的に確保し、回遊性の向上や市街地の魅力アップを図ります。	
財源	国・県		490万円
	市債		
	他		
	市		2,796万円

船形館山線道路整備事業（都市計画課）			
事業費	1億2,865万円	道路ネットワーク整備や地域活性化、災害対策等のため、船形バイパスの整備を推進します。	
財源	国・県		2,992万円
	市債		3,320万円
	他		
	市		6,553万円

消防団詰所整備事業（危機管理課）			
事業費	4,163万円	老朽化が著しい消防団詰所の建替を行うほか、消防団個別部の合併に伴い不要となった詰所の解体工事を行います。	
財源	国・県		270万円
	市債		2,930万円
	他		
	市		963万円

避難所電源設備改修事業（危機管理課）			
事業費	593万円	停電時における指定避難所施設の電源確保のため、非常電源切替盤を設置し、避難環境の充実及び安全性の向上を図ります。	
財源	国・県		
	市債		590万円
	他		
	市		3万円

## 行財政改革

行財政改革推進事業（事業仕分け業務）（行革財政課）		
事業費	150万円	行財政改革方針に定める「既存事務事業の見直し」を行うため、事業仕分けを実施します。
財源	国・県	
	市債	
	他	
	市	

ふるさと納税推進事業（行革財政課）			
事業費	1億8,892万円	魅力ある返礼品の拡充やインターネット媒体を中心としたPR強化等により、ふるさと納税（寄附）の増加に努めます。	
財源	国・県		
	市債		
	他		1億8,892万円
	市		

## 定住自立圏構想事業

館山市観光協会補助金（観光みなと課）			
事業費	1,995万円	館山市及び南房総市の観光振興による地域経済の活性化を図るため、両市の観光協会が共同で実施する事業を支援します。	
財源	国・県		
	市債		
	他		399万円
	市		1,596万円

支援対象児童等見守り強化事業（こども課）			
事業費	900万円	児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等に対する見守り強化事業を実施します。	
財源	国・県		600万円
	市債		
	他		
	市		300万円

## 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

子ども医療費給付金（社会福祉課）			
事業費	1億2,687万円	子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもの保険診療に係る費用を公費負担します。（助成対象年齢の拡充分に交付金を充当）	
財源	国・県		4,334万円
	市債		
	他		8,175万円
	市		178万円

給食材料購入費（学校給食センター）			
事業費	2億2,009万円	学校給食の質を維持するため、価格高騰分の食材費に対し、交付金を活用します。	
財源	国・県		2,090万円
	市債		
	他		1億5,612万円
	市		4,307万円

本書について、ご意見等ございましたら  
下記までお気軽にお寄せください。

館山市の家計簿  
令和6年度 当初予算版

令和6年4月作成  
館山市総務部行革財政課  
T E L      0470-22-3291  
F A X      0470-23-3115  
E -Mail    [gyouzai@city.tateyama.chiba.jp](mailto:gyouzai@city.tateyama.chiba.jp)